

チューニングによる大学教育のグローバル質保証

—テスト問題バンクの取組—

《工学分野》

大学教育のアウトカムについての合意形成

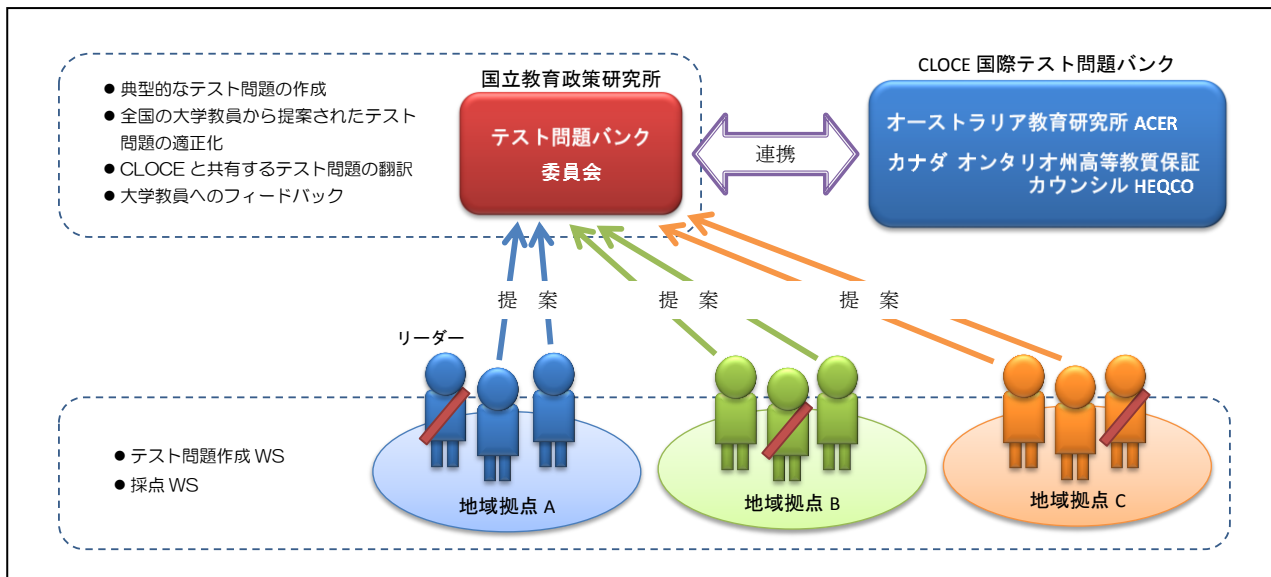
大学教育を通して学生にどのような知識・技能（アウトカム）を身に付けさせたいのか。

工学分野では、学習到達目標が日本学術会議の分野別参照基準や JABEE 認定基準として示されています。しかしながら、大学教育の多様性を尊重する立場から抽象的な記述に留められており、水準を含む具体的な形では示されていません。

本取組では、**テスト問題作成というアプローチで、工学分野の学習到達目標（学士課程修了**

相当）に関する実質的な共通理解を形成することを目指します。さらに、作成したテスト問題を海外の大学教員と共有することを通して、**国際通用性**を確保することも目指します。

本取組は、大学教育のアウトカムについての国際的な合意形成に向けた大学教員による主体的取組であり、大学教育のグローバル質保証を推進する先導的取組として、文部科学省高等教育局と連携しながら、平成 26 年度より進めてきました。



● テスト問題を共有する会員制プラットフォーム

- テスト問題バンクは、会員である大学教員が、共通の枠組みに基づいてテスト問題を作成して提案するとともに、既に提案されている問題を教育目的に限って自由に活用できるプラットフォームです。
- 平成 26 年度には、18 大学・機関の 29 人の会員が「典型的なテスト問題」（記述式問題 6 問、多肢選択式問題 45 問）を作成しました。その取組を通して蓄積された経験知は、『テスト問題作成の手引き』に集約しています。

- 平成 27 年度には、平成 26 年度会員が中核メンバーとなって地域拠点を形成し、新たな会員とテスト問題作成に取り組みます。また、作成したテスト問題を英語に翻訳して、海外の大学教員との意見交換に積極的に取り組みます。

● 教育改善に資する学習成果アセスメントとフィードバックの在り方の検討

- テスト問題は、各会員が所属する大学等の学生を対象に活用していただけます。
- テスト問題の採点結果は、事務局に提出していただきます。事務局では、複数の大学の採点結果を集約して、テスト問題の改善に活かすとともに、各大学にフィードバックします。そのプロセスを通して、大学教育の改善に資する学習成果アセスメントとフィードバックの在り方について検討を深め、合意を形成していきます。
- 将来的に、妥当性・信頼性・国際通用性が確保されたテスト問題が十分に蓄積された時点で、テストの国際的な一斉実施を目指します。各大学に国際的なベンチマークを含む教育情報をフィードバックすることで、大学教育のグローバル質保証に貢献することを目指します。

● 教育課程の体系化

- 合意されたアウトカムを育成するための学位プログラム・科目/モジュールの在り方について検討して、モデルとなる体系的な教育課程の提案を目指します。

取組の背景と意義 — 大学の教育改善への貢献

大学進学率が高まるなかで、**学位の質を保証しながら、学生の教育ニーズと進路先の多様化に対応**していくことが、どの国でも喫緊の課題となっています。学生が学問分野のコアを確実に習得しながら、多様な文脈の中で知識や技能を活用できるようにするには、どのようなアウトカムを掲げ、どのような教育を展開すればよいのか。

この課題に向き合うために、欧州ではチューニング（2000 年～）、米国では学位資格プロフィール（DQP/Tuning）（2009 年試行、2014 年正式発足）等の取組が手掛けられてきました。日本でも、中央教育審議会『学士課程教育の構築に向けて（答申）』（平成 20 年）以降、大学の教育課程をアウトカムに基づいて体系化する必要性が強調されてきました。日本学術会議では、『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準』を策定する作業が平成 20 年に着手され、平成 27 年 4 月現在、機械工学、土木工学、材料工学を含む 18 分野で報告書が公表されています。

そうした中で、既に多くの大学が、教育課程の科目構造を「カリキュラム・マップ」等に整理して、「卒業認定・学位授与に関する方針（DP）」と関連付ける作業等に取り組んでいるところです。文部科学省の競争的資金制度等の枠組みを通して、

「社会の要請に応える大学教育の質保証システムの構築」「学修成果の可視化」「国際通用性のある学位プログラムの設計」等に向けた試行錯誤も精力的に繰り広げられています。本取組もそうした流れを汲むものであり、**大学教育のアウトカムについての実質的な共通理解を形成する先導的取組として、国内外の工学教育はもとより、高等教育全体にとって、極めて重要な指針となることが期待されています。**



提供：幌延町（オトンリ風力発電所）

《大学教員が本取組に参画するメリット》

- ・ 大学教育の国際的動向について理解を深めることができます。
- ・ 他大学の教員と、教育について情報交流することができます。